

根本的な問題の解決を探求する 学校づくりの協働研究プロジェクト

「実践と理論のつながりをめざして」

私たちは、現代的な教育課題となっている様々なトピックについて、**時間はないけれども本当は取り組まなければならない**と**思っている**学校・先生方と共にプロジェクトを組み、課題そのものに対する研究も深めながら、学校現場での課題解決をめざします。そのために、院生と共に学校・先生方と協力して**新しい学校づくりを支援**します。

たとえば、次のような課題について共に課題解決に取り組みます。

児童生徒の
教育課題

学力問題、人権・同和教育、多文化や貧困等の特別な支援、学級づくり、
幼・小・中学校連携、社会に開かれたカリキュラムづくり

学校組織の
経営課題

学校の業務改善、教職員の協働、若手教員のメンタルヘルス、校内研修の活性化、
学校評価や教員評価の効果的活用、施設設備の効果的活用

外部諸機関
との連携

コミュニティ・スクール、地域学校協働活動、家庭教育支援、地域の子育てカリキュラム、
学校とNPOの連携、まちづくりと学校、教育行政との協働体制

※その他、多様な課題についてご相談いただきたいと思います。

「チーム学校」をデザインする 学校支援プロジェクト

学校現場で生み出した貴重な「実践」、それらを大学の「理論」と交流することで、**新たな見方、視点を提供**します。それは、「この実践には、このような意味があったのか」、「この実践は、他のこの実践とつながっているのか」、「実はこのような仕組みになっているのか」、「…となると新たな方向性として、このような可能性がありそうだ」などのように、学校現場と大学が連携することで、「理論」を活用し、新たな「実践」へとつなぐことができるような取組をめざしています。

本領域では、「教育連携」や「チーム学校」、「学校・学級づくり」をキーワードにした「実践」を対象にしますが、この学校支援プロジェクトも、まさに学校現場と大学が連携しながら、チーム学校をデザインする取組の一つといえます。

